



2023年8月8日

令和5（2023）年度第2回定例記者会見開催のお知らせ

日時：2023年8月10日（木）10:30～11:45  
場所：豊橋技術科学大学 事務局3階大会議室  
YouTube：<https://youtube.com/live/yFTBDPaLVBg>

<記者会見項目>

- ①技科大のロボット技術を一挙公開！  
～ロボット関連の12研究室を一般公開～  
【人間・ロボット共生分野 分野リーダー／情報・知能工学系 教授 三浦 純】（別紙1）
- ②静岡テックプラングランプリで「ヤマハ発動機賞」を受賞  
～課外活動団体「カーボンニュートラル研究会」による近未来マイクロモビリティ開発～  
【カーボンニュートラル研究会顧問／高専連携地方創生機構 教授 市坪 誠 ほか】  
（別紙2）
- ③SXS2023とTongali 海外研修の参加報告  
～Tongali ビジネスプランコンテストによる派遣報告～  
【博士後期課程3年 高橋 遼】（別紙3）
- ④オープンキャンパス2023・技科大TECHフェスティバル2023のご案内  
【広報戦略本部】（別紙4）
- ⑤ダイバーシティ推進センター企画シンポジウムのご案内  
～工学分野でのジェンダー・イノベーション研究と広がり～  
【ダイバーシティ推進センター】（別紙5）
- ⑥令和5年度 電気・電子・情報関係学会 東海支部連合大会のご案内  
【東海支部連合大会実行委員会】（別紙6）

<本件連絡先>

総務課広報係 岡崎・高橋

TEL:0532-44-6506 FAX:0532-44-6509



2023年8月8日

**技科大のロボット技術を一挙公開！**  
～ロボット関連の12研究室を一般公開～

<概要>

豊橋技術科学大学では、2010年に設立された人間・ロボット共生リサーチセンターを中心にロボットの研究開発を進めてきました。2023年4月の次世代半導体・センサ科学研究所（IRES<sup>2</sup>）の設立に伴い、ロボットに関する研究開発活動を **IRES<sup>2</sup> 社会実装部門の人間・ロボット共生分野**に集約し、次世代ロボット技術開発とロボット技術の社会実装を進めていくことになりました。そこで、本学のロボット関連技術全体を気軽に見ていただける機会として、研究室の一般公開を実施することとしました。地域の企業、自治体の方々やご興味のある方にぜひご来場いただければと存じます。

<日程・スケジュール等>

日 時：2023年9月28日（木）14:30～18:00

会 場：豊橋技術科学大学

参加費：無料

◆開会挨拶・全体説明（14:30～15:00）

会場：A2棟1階（A2-101室）

- 開会挨拶 豊橋技術科学大学 学長 寺嶋一彦
- 概要紹介 人間・ロボット共生分野 分野リーダー 情報・知能工学系教授 三浦 純
- 産学連携制度の紹介 研究推進アドミニストレーションセンター 主任 URA 畑山佳紀

◆研究室公開（15:00～18:00）

会場：学内12研究室（機械工学系、情報・知能工学系、次世代半導体・センサ科学研究所）  
ロボコン同好会

◆申込方法

以下のオープンラボ2023のページから申込みをお願いいたします。

<https://robot.tut.ac.jp/openlab2023.html>

申込期限：2023年9月25日（月）

※ただし、締切り後も可能な限り対応させていただきます。



本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 岡崎・高橋

TEL：0532-44-6506 FAX：0532-44-6509

# TUT Robotics

## 豊橋技術科学大学 人間・ロボット共生分野

### オープンラボ2023



## 豊橋技術科学大学 次世代半導体・センサ科学研究所 人間・ロボット共生分野

### TUT IRES<sup>2</sup> Human-robot symbiosis research group

日時：2023年9月28日（木） 14:30～18:00

会場：豊橋技術科学大学

### ◆開会挨拶・全体説明（14:30～15:00）

会場：A2棟1階（A2-101）

- ・開会挨拶 豊橋技術科学大学 学長 寺嶋 一彦
- ・概要紹介 人間・ロボット共生分野 分野リーダー 情報・知能工学系教授 三浦 純
- ・産学連携制度の紹介 研究推進アドミニストレーションセンター(RAC) 主任URA 畑山 佳紀

### ◆研究室公開（15:00～18:00）

会場：学内12研究室（機械工学系，情報・知能工学系，次世代半導体・センサ科学研究所）  
ロボコン同好会（NHKロボコン優勝ロボット等展示）

【申込方法】 右の二次元コードを読み取り，オープンラボのページから  
お申し込みください

<https://robot.tut.ac.jp/openlab2023.html>



【参加費】 無料

【問い合わせ】 豊橋技術科学大学 人間・ロボット共生リサーチ分野 事務担当（村井）

E-mail：murai[a]aisl.cs.tut.ac.jp

【申込み期限】 2023年9月25日（月）

TUT Robotics オープンラボ2023  
技科大のロボット関連12研究室の一般公開

## 技科大のロボット技術を一挙公開！

豊橋技術科学大学 情報・知能工学系  
教授 三浦 純  
次世代半導体・センサ科学研究所 (IRES<sup>2</sup>)  
社会実装部門 人間・ロボット共生分野リーダー

### 技科大におけるロボット研究開発体制

- 2023年4月の技術科学イノベーション研究機構(RITI)の組織改編に伴う体制変更
- 従来の人間・ロボット共生リサーチセンターを発展的に解消し、次世代半導体・センサ科学研究所(IRES<sup>2</sup>)の社会実装部門の人間・ロボット共生分野に活動を集約
- 革新的センシング技術の社会実装を見据え、ロボット技術の研究開発を推進
- 12研究室・研究グループ（情報・知能工学系、機械工学系、IRES<sup>2</sup>）
- 今回、人間・ロボット共生分野発足を機に、オープンラボ（研究室公開）を実施
  - 地域の企業、自治体の方々、興味のある方に技科大のロボット技術を知っていただく機会に



# 技科大におけるロボット研究開発（1） リサーチセンター設立

## ■ 2010年 人間・ロボット共生リサーチセンター設立

（初代センター長：寺嶋現学長）

- 2012年度～2016年度 文部科学省特別経費「超高齢社会を活性化する次世代介護システム・ステーションの開発」
- パワーアシスト移乗機器，全方向移動車いす，免荷式歩行訓練ロボット，VRリハビリシステム，病院内回診支援ロボット「セラピオ」などの開発を行った。



2

# 技科大におけるロボット研究開発（2） 公的資金による研究開発プロジェクト

- 2016年度～2018年度 あいち知の拠点重点研究プロジェクト第II期
  - 介護医療コンシェルジュロボットの開発
  - 施設園芸作物の収穫作業支援ロボットの研究開発
  - 愛知次世代ロボットの産業化・市場創出を推進する要素技術開発
- 2019年度～2021年度 あいち知の拠点重点研究プロジェクト第III期
  - 農業ビッグデータの活用によるロボティックグリーンハウスの実現
- 2022年度～2024年度 あいち知の拠点重点研究プロジェクト第IV期
  - <弱いロボット>概念に基づく学習環境のデザインと社会実装
- 2021年度～2023年度 日本医療研究開発機構 ロボット介護機器開発等推進事業
  - 介護施設における高齢者のADL(日常生活)を支援するコミュニケーションロボットの開発



3

# 技科大におけるロボット研究開発（3） 共同研究

- イノベーション協働研究プロジェクト（2016年度～）
  - マッチングファンド式の共同研究
  - 11件のロボット関連プロジェクトを実施
- 共同研究講座
  - コベルコ建機次世代クレーン共同研究講座（2019年度～2023年度）
  - シンフォニアテクノロジー次世代スマートファクトリー共同研究講座（2019年度～2023年度）
  - 新東工業先端融合ロボティクス共同研究講座（2020年度～2022年度）
- その他共同研究
  - パナソニック㈱との共同研究によるコミュニケーションロボット<NICOBO>の商品化
  - ㈱ヒミカとの共同研究によるコミュニケーションロボットの研究開発

共同研究講座



## オープンラボ2023概要

日時：2023年9月28日（木） 14:30～18:00

会場：豊橋技術科学大学 A2棟1階 A2-101室 および学内

当日スケジュール：

### ◆ 開会挨拶・全体説明（14:30～15:00）

- ◆ 開会挨拶 豊橋技術科学大学 学長 寺嶋一彦
- ◆ 概要紹介 人間・ロボット共生分野リーダー 情報・知能工学系 教授 三浦 純
- ◆ 産学連携制度の紹介 研究推進アドミニストレーションセンター 主任URA 畑山佳紀

### ◆ 研究室公開（15:00～18:00）

- ◆ 学内12研究室（情報・知能工学系，機械工学系，IRES<sup>2</sup>）
- ◆ ロボコン同好会（2022年，2023年NHKロボコン優勝，優勝8回）

### ◆ 申込方法：以下のページより申込み（期限：2023年9月25日(月)）

- ◆ <https://robot.tut.ac.jp/openlab2023.html>





2023年8月8日

**静岡テックプラングランプリにて「ヤマハ発動機賞」を受賞**  
～課外活動団体「カーボンニュートラル研究会」による近未来マイクロモビリティ開発～

**<概要>**

本学の課外活動団体「カーボンニュートラル研究会」が、株式会社リバネス主催第6回静岡テックプラングランプリのファイナリストとして選出され、2023年7月22日（土）開催の最終選考会でのプレゼンテーションの結果、「ヤマハ発動機賞」を受賞しました。

今大会では、応募のあった17チーム中9チームがファイナリストとして選出され、また、他チームの発表者は企業関係者や大学教員等である中、本学の発表者 浅田吉博さん（学部4年）は唯一の大学生でありながら、見事受賞しました。

**<詳細>**

本学のSDGs推進本部が2022年11月に主催した「サステナブル・キャンパス共創講座」において、参加学生から今回の発表のもととなるアイデアが創出されました。その後、同講座に参加したカーボンニュートラル研究会の学生を中心とした有志が集まり、この学生アイデアをブラッシュアップし、新たな近未来モビリティの開発を構想しました。

**【アイデアの概要】「E-マイクロモビリティの開発」**

過疎地域のみならず、都市部の公共輸送と公共輸送の間にある「移動の隙間」は、ハンディキャップを持つ人々にとって、移動の自由を奪う大きな課題です。そこで、最小単位の小さいユニットを必要な台数接続し、物や人を運ぶコンパクト・機動性の良い「E-マイクロモビリティ」を開発することで、誰もが自由でアクティブになれる移動社会の実現を目指します。さらに、再生可能エネルギーの導入を推進します。



図1：E-マイクロモビリティの未来ビジョン



図2：当日の様子

## ＜今後の展望＞

このアイデアに基づく取り組みは「人間中心デザインに基づく E-マイクロモビリティの開発を通じた社会実装型エンジニアの育成（代表：浅田吉博（カーボンニュートラル研究会）」として、令和5年度未来産業創出事業補助金（次世代人材育成事業）に採択されており、今後も実施していきます。また、モビリティ開発で歴史ある豊橋ー浜松地域において、事業化に向けたさらなる開発を進めてまいります。

## ＜参考＞

「カーボンニュートラル研究会」

2021年に設立された課外活動団体。SDGsやカーボンニュートラルを「ポップに楽しく理解する」教材の開発から製作、社会実装、地域貢献活動、国際交流活動等に取り組んでいる。2022年度には、性別、年齢、言語を問わないスポーツであるモルックにSDGsを融合させた「SDGsモルック」を開発。豊橋インターナショナルフェスティバル等で東三河地域の国際交流協会と連携した活動を展開企画中。

[https://twitter.com/tut\\_CNlab](https://twitter.com/tut_CNlab)

「静岡テックグランプリ」

静岡県内を中心とした大学等高等教育機関など研究機関やベンチャー企業が有する技術シーズをもとに、世界を変えたい、社会課題や産業上の課題を解決したいという想いをもち、創業あるいは新事業展開の意志がある者を応援する取り組み。リアルテック分野に特化した発掘育成を行っており、2018年度に開催されて以来今年で6年目を迎える。

[https://ld.lne.st/shizuoka/tp\\_shizuoka2023/](https://ld.lne.st/shizuoka/tp_shizuoka2023/)

「未来産業創出事業補助金（次世代人材育成事業）」

愛知県東三河地域の第3セクター株式会社サイエンス・クリエイトが、市内の大学等に在籍する学生が所属する学生グループを対象に、次世代産業人材育成のための活動に取り組む事業を支援（上限25万円）。

<https://www.tsc.co.jp/topics/more.php?id=31>



本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 岡崎・高橋

TEL：0532-44-6506 FAX：0532-44-6509



# カーボンニュートラル研究会 静岡TechPlanter2023 「ヤマハ発動機賞」受賞

カーボンニュートラル研究会  
E-マイクロモビリティ開発チーム

## 1. 謝辞



サステイナブル・  
キャンパス共創講座  
(2022/11/22)

実現に向けた大学の  
サポート

リバネスさん  
メンタリング

市坪先生  
蒲原先生

篠原先生  
土谷先生

塚越様  
長様



この活動は「技科大」だからこそできた

- ✓ 様々な方々の支援
- ✓ 強い志を持った仲間たち
- ✓ 経験や技術をもった高専生

## 2. カーボンニュートラル研究会について

私たちはSDGsやカーボンニュートラルを「ポップに楽しく理解する」教材の開発から製作，社会実装に取り組みます！

ユーザー目線で課題の真相を発見，解決策を創造する方法「人間中心デザイン」を共創に活用しています

**【教育部門】SDGsモルック**

昨年度は，性別・年齢・言語を問わないスポーツであるモルックにSDGsを融合させた「SDGsモルック」を開発し，楽しくSDGsを伝えました

これまで，豊橋市，新城市のイベント等で述べ100名以上の市民の皆様にご参加いただきました

**【開発部門】E-マイクロモビリティ**

今年度は交通渋滞・CO2排出，放置自転車の移動手段(モビリティ)の課題に着目し，再生可能エネルギーを利用した「E-マイクロモビリティ」を提案

参加学生の技術力を結集したモビリティ社会の変革を志しています！

SDGsモルック



○SDGsモルックとは

モルックはフィンランド発祥の老若男女問わず楽しめるスポーツです

私たちは，基本的なモルックのルールにオリジナルのSDGsを学べる要素を融合しました

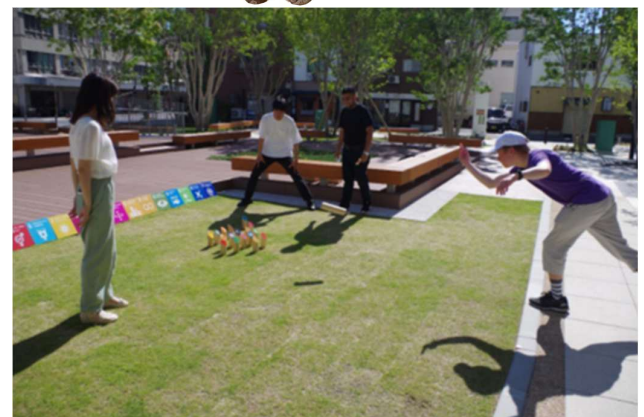
SDGsモルックはチームで協力して目標ポイントを目指し，遊びながらSDGsを知ることが出来ます！



○今年度の取り組み

東三河地域の国際交流協会と連携した活動を展開 企画中

- ・豊橋市わかば補助金に採択（10万円）
- ・新城市SDGsイングリッシュサマーキャンプ
- ・豊橋市インターナショナルフェスティバル



### 3.サステナブル・キャンパス共創講座

### サステナブル・キャンパス共創講座

【趣旨・目的】全国の高専や世界から優秀な学生が集まる本学において、「サステイナブル・キャンパス」をテーマに学生達が学科や国籍に関わりなく連携し、**日頃の学習成果をアウトプットし、主体的に活動できる場**を提供。

▶**本学のSDGsを推進するとともに、実践的・創造的能力を備えた指導的技術者の育成に貢献する。**

【主催】豊橋技術科学大学SDGs推進本部

※2022年度学長裁量経費で  
試行的に実施(担当:市坪、蒲原)



日時:2022年11月22日(火)13:00-17:00

場所:IGNITE棟105・106教室 参加者人数:11名  
(サポート学生4名、一般参加学生7名  
(内、留学生4名))

言語:バイリンガル(英語・日本語)

プログラム:

13:00~13:30 講座趣旨説明

13:30~14:30 キックオフスピーチ

(スタートアップサークル~Take Off~、TUT Global House)

14:40~16:30 ワークショップ(共感、問題定義、アイデア創出まで)

テーマ:サステイナブルでカーボンニュートラルなキャンパスライフを実現する方法

16:30~17:00 発表、講評

⇒ その後、参加学生を中心にアイデアをブラッシュアップ。



## 4. 開発部門：E-マイクロモビリティ



本学の放置自転車の様子

【きっかけ】

- ・ 学生が抱える課題：放置自転車の課題（@大学の共創講座）
- ・ 解決案の1つ：自転車の修理、リユース  
→ 慈善事業で続かない。。
- ・ よって、  
「移動の問題を解決するモビリティを作らねば！」

【補助金】

サイエンス・スプリントさんによる  
「未来産業創出事業補助金（人材育成事業）」  
25万円（補助率10分の10, 2023/7～2024/2）

静岡テックプランターグランプリ



- ・ 世界を変えたい、社会課題や産業上の課題を解決したいという想いを持ち、創業あるいは新事業展開の意志がある者を応援する取り組み。
- ・ 静岡県内を中心とした大学等高等教育機関など研究機関やベンチャー企業が有する技術シーズをもとにする。
- ・ リアルテック分野に特化した発掘育成を行っており、2018年度に開催されて以来今年で6年目を迎える。
- ・ 今大会では、応募のあった17チーム中9チームがファイナリストとして選出された。
- ・ カーボンニュートラル研究会は、「ヤマハ発動機賞」を受賞





## 5. 発表内容

---

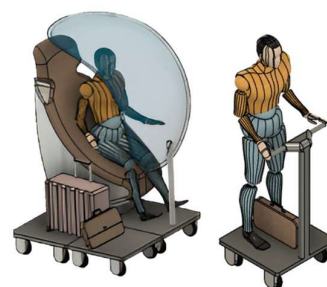
13

# E-マイクロモビリティの開発

誰もが自由でアクティブに！

豊橋技術科学大学 カーボンニュートラル研究会

2023/7/22 静岡TechPlanter2023

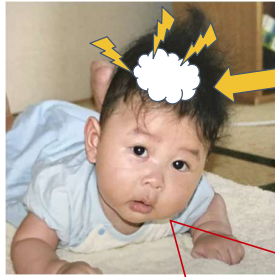




# 自己紹介

浅田 吉博 (あさだ よしひろ)

- 豊橋技科大 4年 電気・電子情報工学課程
- 長野高専 専攻科 2年 電気情報システム専攻



国鉄エンジニアの祖父  
テクノロジーがっこい

トビタテ！留学JAPAN  
グローバルな活躍を目指す



高専生活  
ものづくり楽しい！

地域の起業家・社長に突撃  
イノベーション起こしたい！

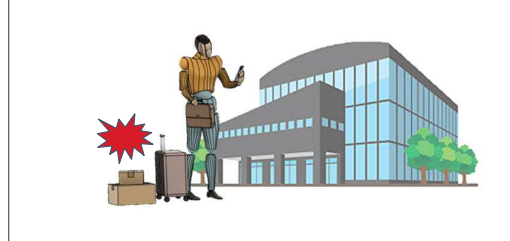
テクノロジーで世界をより良くしたい！！バブ👍

## 課題「都市部にもある”移動のすきま”」

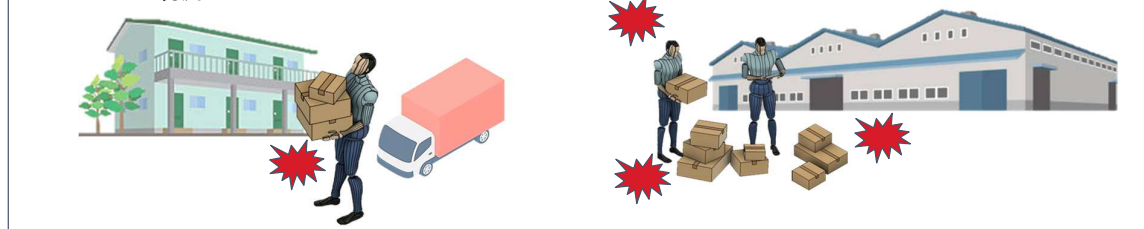
シーン1：バス停 - 病院 (徒歩5分)



シーン2：駅 - タクシー (徒歩3分)



シーン3：物流のラストワンマイル

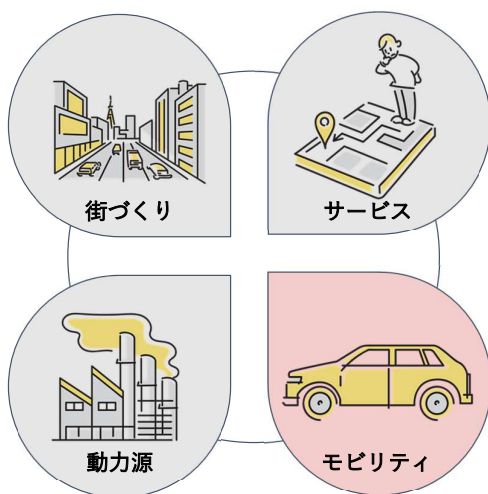


私たちが目指す社会は、

**「誰もが自由でアクティブになれる移動社会」**

ビジョンを実現するために

**「誰もが自由でアクティブになれる移動社会」**



「移動のすきま」を埋められる  
モビリティは未だない!

新たなモビリティを生み出し、移動社会を変革！

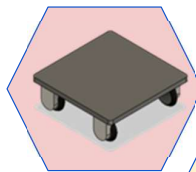
⇒ 「E-マイクロモビリティ」



## E-マイクロモビリティのコンセプト

せまい場所を移動できる！

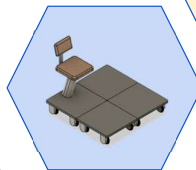
①マイクロ



③群制御（自動運転）



人・荷物・椅子・屋根と  
ユーザーの最小単位にカスタマイズ



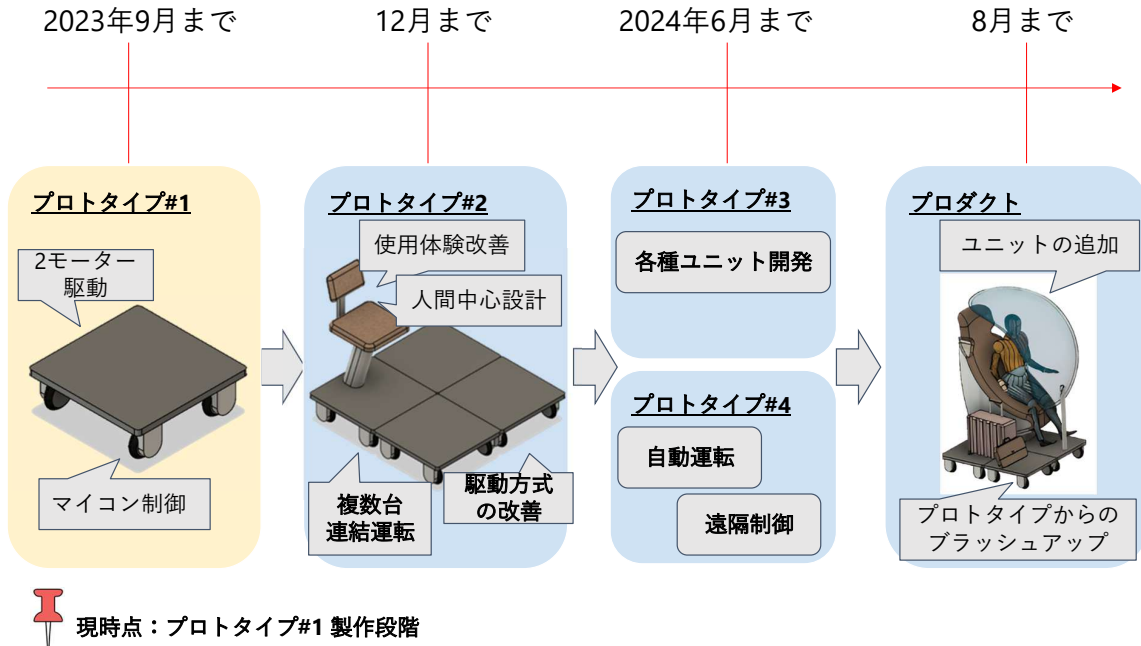
姿を変えて、都市を循環！

②コネクト（規格化）

運転せずに目的地まで  
行ける！

使用后、必要な機能を組み立  
てて、効率的に次の用途へ

# 開発のマイルストーン



# 製作を実現するチーム体制



**浅田吉博**  
4年・プロジェクト統括  
高専時代より半導体集積回路、センサ出力解析の研究  
イノベーション創出が人生の使命



**千葉瑞生**  
4年・設計開発リーダー  
機械工学に精通  
高専時代に学生フォーミュラEVの製作を経験  
屈強な体力と根性を持つ



**高橋 改**  
4年・回路設計担当  
高専時代から半導体を用いた  
においセンサデバイスの研究  
現在、新たな電子デバイスの開発



**岡野達馬**  
3年・機構設計担当  
CAD、機械設計・製作が得意  
高専時代の卒研で、優秀社会実装賞と安川電気賞をW受賞！



**加藤亮一郎**  
3年・モビリティデザイン担当  
リーダーシップに優れ、仲間思い  
日本語、英語+ドイツ語、スペイン語を話す。自動車エンジニアの父に憧れ、モビリティで世界を変えたい！



**孔 智勲**  
1年・人間中心デザイン担当  
イラスト・デザインが得意  
グローバルに活躍できる人材を目指し  
英語・中国語・韓国語を習得中  
起業を学ぶため、夏シリコンバレーへ



**市坪 誠**  
顧問教員（学長特別補佐・教授）  
大学改革における  
将来ビジョン、SDGs推進を担当



**浦原 弘継**  
特別アドバイザー（特定専門  
「世界を変革するエンジニアの育成」を目指し、大学において  
グローバル・SDGs教育プログラムの企画・実施支援を担当



**篠原 稔和**  
連携教員（特任教授）  
ソシオメディア株式会社代表取締役  
ユーザー目線で設計・開発を行う  
"人間中心デザイン"の先駆者

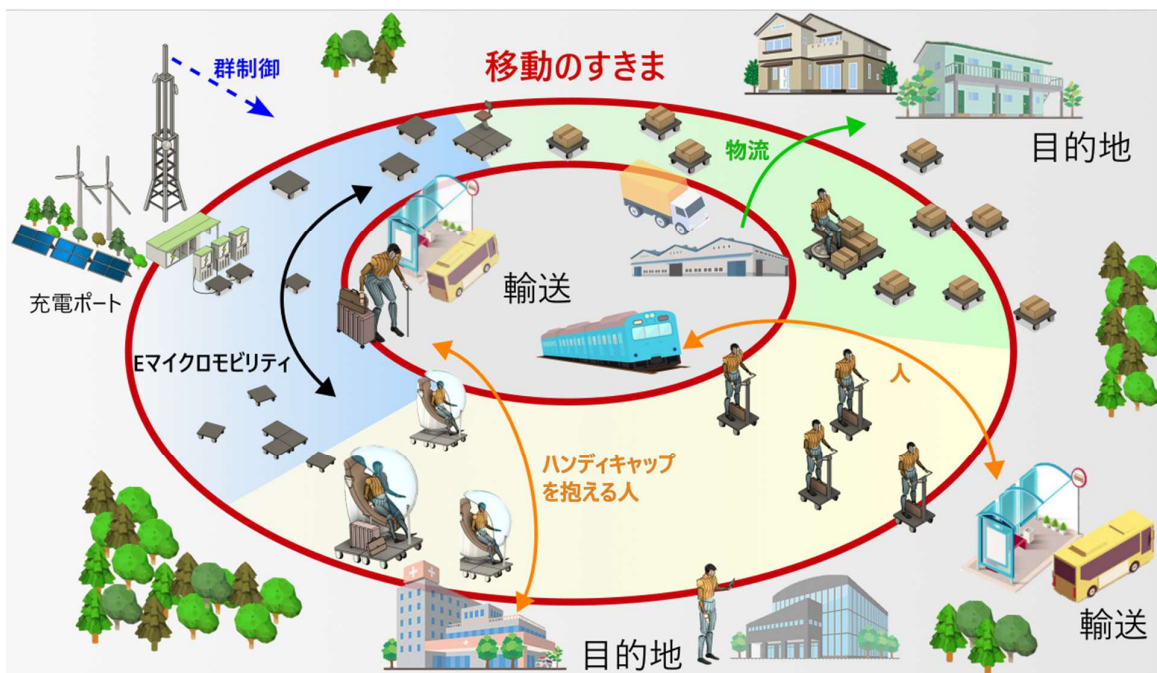


補助金 25万円 採択  
第3セク(株)サイエンス・クリエイトによる「未来産業創出事業補助金」に採択  
(2023/7~2024/2)



# Eマイクロモビリティのある未来社会

「誰もが自由でアクティブになれる移動社会」



「誰もが自由でアクティブになれる移動社会」



サービスではなく、モビリティで解決しなくてはならない！



## サポートしてほしい内容

- 一緒に開発する仲間
- 実証実験（都市）をする仲間
- ビジネスモデル等の指導協力

- 駆動・制御技術
- プロダクト機構
- エネルギー給電技術

- 物流会社へのヒアリング

## 6. 地域の皆様、高専生/高校生、大学生 企業様へのメッセージ

---

25

### メッセージ

私たちと共創して、未来社会を変革する活動を  
一緒にしましょう！

- ✓技術や思いを持った仲間がいる
- ✓全国の高専や世界から優秀な学生が集まる多様性を持つ
- ✓様々な支援を受けられる環境がある
- ✓人間中心デザインを学びながら、共創するワークショップを計画中  
(プレスリリースにてご案内いたします。)

26





2023年8月8日

**SXSW2023 と Tongali 海外研修の参加報告**  
～Tongali ビジネスプランコンテストによる派遣研修～

**<概要>**

2021年6月に開催された「Tongali（とんがり）ビジネスプランコンテスト2021」において、チーム名「INHAND（インハンド）」は「愛知県賞」を受賞し、その副賞として、アメリカ・テキサス州オースティンで開催された SXSW（サウス・バイ・サウスウエスト）2023に出展しました。また、同時にアメリカで実施された東海発アントレプレナーシップ教育を推進する、Tongali 主催の海外研修にも参加しました。

会見当日、INHAND 代表の情報・知能工学専攻 博士後期課程3年 高橋 遼から、詳細について発表します。

**<詳細>**

**◆SXSW2023 出展◆**

SXSW は、音楽、映画、テクノロジーなどの分野で有名なアメリカの大規模メディアイベントです。このイベントは、世界中から来た人々を繋ぎ、新しいアイデア、ビジネスチャンス、そして多様性と包括性を推進することを目的としています。展示期間は3月11日から17日までの4日間で、午前9時から午後4時（現地時間）まで展示が行われました。ここでは、VCや企業関係者を含めた多くの人からのフィードバックが得られ、また、最先端の技術やサービスに触れる機会となりました。帰国後も何社かと連絡を取り、北米に拠点を持つ1社とは、今後の活用に関して現在も会議が続いています。

**<SXSW2023の様子>**

Creative industries Expo 内の愛知県のブースに名古屋大学の学生と共同で展示しました。会場では、ソフト・ハードウェアからサービスまで幅広い展示が見られました。ブースには多くの人々が来場し、展示期間中、絶えず人が訪れていました。我々チームのサービスに対しては、肯定的なフィードバックを多くもらいました。また、多くの日本企業が視察や展示をしていました。



**◆Tongali 海外研修◆**

Tongali は、2015年度に開始された、東海地区の国立5大学による起業家育成プロジェクトであり、学部生・大学院生・教職員を対象に、次世代の起業家を育成・支援する多面的なプログラムを提供しています。この海外研修は、Tongali 主催のビジネスプランコンテストやアイデアソンで入賞したグループを対象として、スタートアップの本場であるアメリカで行われました。研修では、ニューヨークとボストンを巡り、JETRO ニューヨークオフィスやバブソン大学の見学、CIC ベンチャーカフェに参加し、ビジネスに関する意見交換を行いました。

## <Tongali 海外研修のスケジュール>

### ・ニューヨーク

1 日目：コロンビア大学見学（3人の日本人留学生と交流）

2 日目：JETRO NY ブリーフィング（海外ビジネスについての話）

米国弁護士訪問（プレゼンに関してフィードバック、スタートアップ支援・パテントについて）

Cornell Tech 見学（コーネルテックやプログラムの概要、NYC のスタートアップエコシステム）

### ・ボストン

3 日目：Babson College 訪問（キャンパス・講義見学、起業に興味のある学生コミュニティの紹介、ディナー&交流会、プレゼンに対するフィードバック）

4 日目：ノースイースタン大学見学（学生が入りたくなるような先進的な校舎）

Venture Café 参加（起業家や投資家と交流、ビジネスプランに対するフィードバック）

## ◆オンラインプレゼンテーションサービス「inhand」◆

コロナ禍をきっかけとした世界的なりもトプレゼンテーションの普及に際し、オンラインではボディランゲージ等の動きを使った印象的なプレゼンができない、ということが課題となりました。INHAND では、AI によるジェスチャー認識を使うことで、追加の機材を必要とせずに WEB カメラだけで、全身を写した対面に近いプレゼンができるソフトウェア「inhand」を開発しています。

inhand は、既存のオンラインミーティングサービスでは難しい「発表者の全身」と「資料」を同じ画面内に写して発表することができるソフトウェアです。発表者は、スライドの横に立ったかたちの対面に近いプレゼンをすることができ、身体の動きをより大きく見せることができます（図 1）。現在はベータ版を HP (<https://inhand.amebaownd.com/>) にて無料で公開しており、今後は販売も検討しています。

以下の機能があります。

### ① ハンドジェスチャーによる操作

全身を見せるためには WEB カメラから離れて立つ必要があります。そこで inhand は、ハンドジェスチャーを使って、キーボード等に触らずに資料の操作を可能にしました。

### ② 3D データの表示

対面ではなくオンラインならではの追加要素として、まるで手のひらの上に 3D データが浮いているように表示できる機能を実装しました（図 2）。



図 1. スライドと発表者

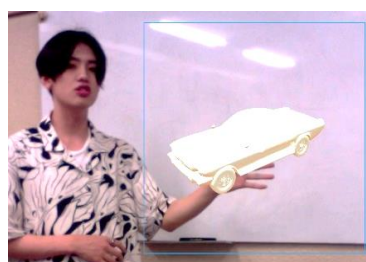


図 2. 3D 資料（自動車）の表示

## <参考>

### ■過去のプレスリリース

「大学発ベンチャーの創出と起業家育成を目的とした『Tongali ビジネスプランコンテスト 2021』豊橋技術科学大学の学生2チームが、最優秀賞と愛知県賞を受賞！」

(2021.06.25)

<https://www.tut.ac.jp/docs/210625kisyakaiken.pdf#page=25>

## <メンバー>

高橋 遼 (たかはし はるか) 情報・知能工学専攻 博士後期課程3年

菅原 光 (すがわら ひかる) 情報・知能工学専攻 博士前期課程2年

泉 壮洋 (いずみ たけひろ) 情報・知能工学専攻 博士前期課程2年

岩澤 笙 (いわさわ しょう) 情報・知能工学専攻 博士前期課程2年



### 本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 岡崎・高橋

TEL：0532-44-6506 FAX：0532-44-6509

# Tongali研修・SXSW報告

豊橋技術科学大学  
inhand 高橋遼，菅原光

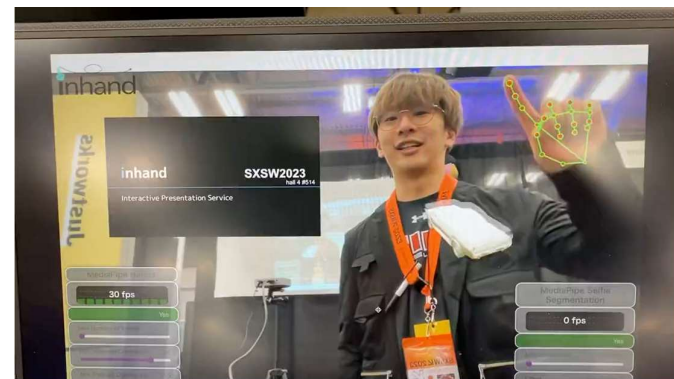
## 研修概要

### 前半：Tongali研修

- ニューヨークやボストンを訪問
- 他大学の見学や学生との交流
- ビジネスや特許に関する話を聞く

### 後半：SXSW出展

- 音楽祭・映画祭・インタラクティブフェスティバルなどを組み合わせた大規模イベント
- 3月12～15日のCreative Industries Expoに愛知県としてブースを出展



SXSW中の展示の様子

出典：  
[https://twitter.com/ntv\\_rd/status/1635303430741958659?s=20](https://twitter.com/ntv_rd/status/1635303430741958659?s=20)





## New York: Day 1



### コロンビア大学見学

#### 3人の日本人留学生と交流

- Rockefeller University Ph.D. student
- Parsons School of Design Master student
- Columbia University Undergraduate student

挑戦すること・挑戦するときの  
マインドを学ぶ

3

## New York: Day 2-3

NYC市や企業が複数の課題を掲げ

### JETRO NY ブリーフィング

の話

#### Answer:

博士に進んだ学生は**自分の力で何か生み出せる人**で、  
そういう人はアカデミックや大企業に進むことはいつ  
でもできる。だからこそ、**スタートアップに挑戦して**  
**ほしい。**

**Keep competitiveness! (競争心を忘れるな)**

Cornell Tech

JETRO NY

4

## Boston: Day 1



### Babson College 訪問

アメリカでトップのアントレプレナーシップ教育を誇る大学

- キャンパス・講義見学
- 起業に興味のある学生コミュニティの紹介
- ディナー&交流会（プレゼン）

5

## Boston: Day 2

### ノースイースタン大学見学

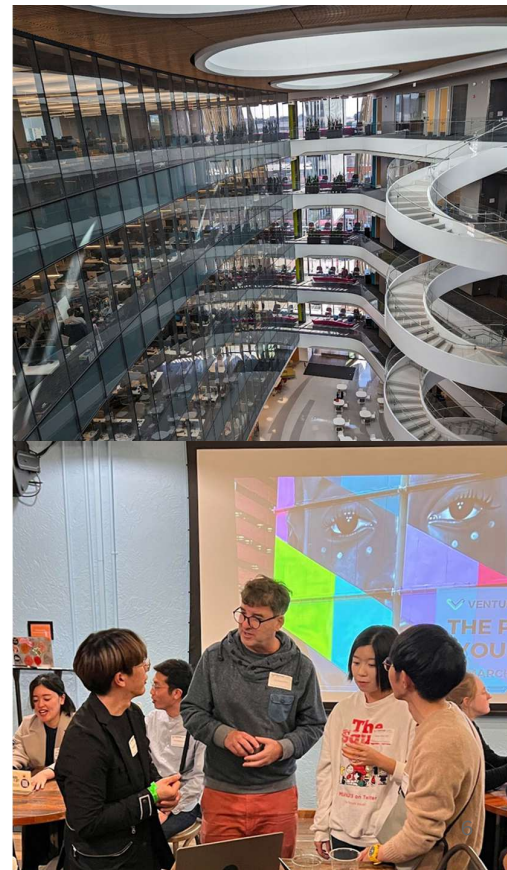
アメリカでトップクラスに就職に強い大学

- 学生が入りたくなるような先進的な校舎
- 企業での半年~1年半の長期インターンシップ

### Venture Café 参加

インキュベーション施設

- 多くの起業家や投資家と交流
- ビジネスプランに対するフィードバック





## SXSW: Day 1-2

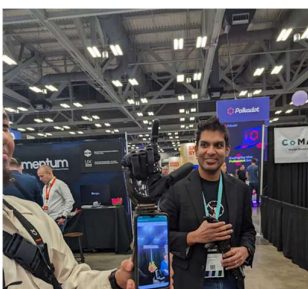


### Creative industries Expoで展示

- 4日間 9:00 - 16:00
- 会場ではソフト・ハードウェアからサービスまで幅広い展示
- ブースには多くの人々が来場

7

## SXSW: Day 3-4



### 3日目

- 他企業のブースを少し回る余裕ができる ([hypervsn](#), 3Dプリンタの義手等)
- XR系のイベントを見学

### 4日目

- 参加者の制限が無くなり一般参加者が増加
- 音楽系のイベントが増加
- Austin Japan CommunityのSXSW参加者交流会に参加

この日に日本企業に  
Twitter (現X) で  
取り上げられた  
(冒頭の動画)



8

## 海外研修を終えて

- **環境整備の重要性**  
(個人, NYCエコシステム, スタートアップ推進)
- **アントレプレナーシップ**  
社会の課題を見つけ、解決のアイデアを考え、あらゆる力を使って解決する  
→ 生きていくために重要、企業に入っても重要
- **「自分の力で生きていける」という自信に**

SXSW期間中に5~6社と連絡先を交換

→ 帰国後に2社と連絡

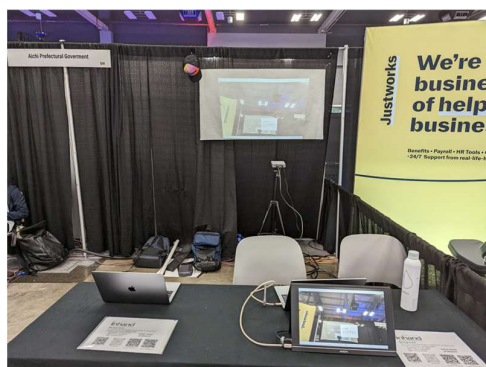
→ 現在、1社と共同でプロジェクトが進行中

## SXSW参加の反省と感想

- ブースの装飾（ポスターなど）がある方が絶対に良い  
(特にソフトウェアを展示する人)
- 色々な人が興味を持って話を聞いてくれるので  
とても楽しいから一度は行くべき
- 展示時間外も様々なイベントがあるので交流の機会がたくさん



inhand Webサイト  
<https://inhand.amebaownd.com>





高校生・高専生向け

同日開催

現地  
オンライン

# OPEN

TOYOHASHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

# CAMPUS

日時 2023 8.26 土



## 現地開催

イベント内容(予定)

- 課程別説明会
- 進学説明会
- 個別相談会
- 学生宿舎紹介
- 模擬授業
- 研究室紹介
- キャンパスツアーなど

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、感染症対策を徹底し実施致します。



研究室・施設を公開!

## オンライン開催

イベント内容(予定)

- 課程別説明会
- 進学説明会
- 個別相談会
- 学生宿舎紹介
- 模擬授業
- 研究室紹介
- 360°キャンパスなど



※詳細はお問合せください。総務課広報係 Tel: 0532-44-6506 Email: kouho@office.tut.ac.jp  
※新型コロナウイルス感染拡大状況等により、各イベントの内容変更または中止となることがあります。※写真はイメージです



技術科学は オモシロイ。

開催地

▶豊橋技術科学大学

# 技科大

## TECHフェスティバル



フェスティバル  
特設サイト

申込  
開始 **7/20** THU  
から

現地開催

**8/26** SAT  
13:00~

技術科学を楽しくしよう!!

参加費無料

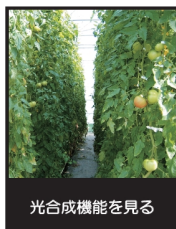
### 小中学生向け体験学習教室

詳細・予約は  
こちらをチェック!!



要予約

技術科学を楽しく学べる小中学生向け体験学習教室。  
豊田高専による体験イベントも開催します!!



光合成機能を見る



ぎゅうぎゅうづめの  
コースター



ひんやりスライム!  
びっくりスライム!



永気に走る?!  
WPTミニカー



<弱いロボット>を  
見てみよう!!



サッカーロボットと  
ミニゲーム体験

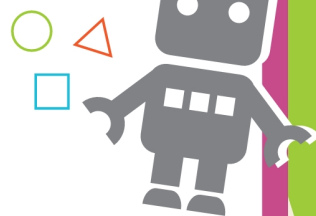
大人も楽しい  
学内ツアー!!

研究室公開

※オープンキャンパスと同日開催

キャンパス  
ツアー

親子でいっしょに  
技術科学を楽しもう!



### INFORMATION

**12:00** 受付開始

**13:00** プログラム開始

参加券

各プログラムへの参加には、参加券が必要です。  
大学内に設置する交換所で受付を済ませ、参加券  
を受け取ってからご参加ください。

※技科大TECHフェスティバルのその他イベントは秋頃実施予定です。

※新型コロナウイルス感染拡大状況等により、各イベントの内容変更または中止になる  
ことがあります。あらかじめ、ご承知おきのほど、よろしくお願いいたします。  
※大学までは各自でお越しください。ご参加は親子で、もしくは保護者が責任をもって  
送迎をしてください。



技術を究め、技術を創る

国立大学法人

豊橋技術科学大学



■お問い合わせ

総務課 広報係

■後援

豊橋市教育委員会

愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

TEL 0532-44-6938(0532-44-6506)

E-mail kouho@office.tut.ac.jp



# 工学分野での

# ジェンダー・イノベーション 研究と広がり



## ◆ プログラム ◆

- ・開会のあいさつ 寺嶋一彦 豊橋技術科学大学 学長
- ・「ダイバーシティ推進センターの取り組み」 講演10分 中野裕美 (豊橋技術科学大学 副学長)
- ・「ジェンダー・イノベーション～性差分析による科学技術の発展にむけて～」  
佐々木成江氏 (お茶の水女子大学 特任教授) 基調講演30分+質疑10分

これまでの科学・技術分野における研究や開発では、男性を対象や基準とすることが多く、女性の方に不利益が生じがちでした。しかし、それをネガティブにとらえるのではなく、性差分析を研究や開発のプロセスに積極的に組み込むことで、科学・技術分野にイノベーションと発見を生みだそうというコペルニクス的発想がジェンダー・イノベーションです。本講演では、国内外の動向や事例を紹介し、ジェンダー・イノベーションが拓く未来について考えていきたいと思っております。



- ・「フェムテック最新動向～ビジネス先進事例と拡大に向けた課題と展望～」  
皆川朋子氏 (一般社団法人 Femtech Community Japan / Founder & 代表理事)  
招待講演20分+質疑10分

フェムテックとは、女性特有の健康に紐づく課題を解決するためのテクノロジー分野であり、新しいビジネスが出現する注目領域となっています。例えば、女性の月経、妊娠・出産、更年期向けのモニタリングアプリ・デバイスやコミュニティ・医療専門家とオンラインで繋ぐプラットフォームなどが挙げられます。一方で、文化的にタブー視されるなど産業拡大に向けた課題を踏まえたフェムテックの最新動向について、ビジネス事例を踏まえて解説します。



- ・「免疫の性差研究から発達障がいの顕在化と教育への展開」  
吉田祥子 (豊橋技術科学大学 教授) 講演20分+質疑10分

ジェンダーと精神発達の関わりは従来から研究され、「発達障がいは男の子に発症する」など、漠然と「女性はメンタルが強い」とされることも多くありました。しかし近年は、女性の発達障がいは顕在化しにくいだけであること、ジェンダーにより免疫活性化のタイムコースが変容し、いろいろな疾患に影響を及ぼすことが知られるようになりました。動物を用いた生物学的な知見を学生のメンタルケアに還元するジェンダー・イノベーションについて紹介します。



## 2023年9月26日(火)



開催時間 14:00～16:00

開催形式 会場 豊橋技術科学大学 A-114講義室 + オンライン

申し込みフォーム <https://forms.gle/hgHqsUkKkVFZXZso7>

※申込み後にZoomコードをご案内します。  
※申込み〆切り 9月22日(金)

名刺・意見交換会 13:15～13:50

開催場所 会場 A-105講義室

《主催》  
豊橋技術科学大学  
ダイバーシティ推進センター

《問い合わせ》  
豊橋技術科学大学  
ダイバーシティ推進センター事務担当  
TEL 0532-44-6502  
Eメール syokuin@office.tut.ac.jp



令和5年度

# 電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会

Tokai-Section Joint Conference on Electrical, Electronics, Information, and Related Engineering

期日:令和5年8月28日(月)・29日(火)

会場:豊橋技術科学大学

電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会事務局

〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35番18号 一光大須ビル7階

公益財団法人 中部科学技術センター内

TEL:052-231-3070

E-mail: sec@tokai-rengo.jp

URL <https://www.tokai-rengo.jp/>



主催:電気学会東海支部,電子情報通信学会東海支部,  
情報処理学会東海支部,照明学会東海支部,  
映像情報メディア学会東海支部,日本音響学会東海支部,  
IEEE名古屋支部

共催:電気設備学会中部支部,豊橋技術科学大学

# 令和5年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会講演募集案内

講演申込期間（講演者）： 6月1日(木)～6月30日(金) 23:00

論文投稿期間（講演者）： 6月1日(木)～6月30日(金) 23:00

事前登録期間（講演者以外）： 6月1日(木)～8月13日(日) 23:00

※事前登録期間後に登録をされる場合、参加費が+1,000円となります。

連合大会Web <https://www.tokai-rengo.jp>

## 【大会の概要】

期 日： 2023年8月28日（月）～29日（火）

令和5年度 電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会は、豊橋技術科学大学での対面開催と致します。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況によってはWeb会議システムを利用したオンライン開催とする場合があります。

- ・支部大会での発表については、例年通り、講演を募集し、対面またはオンラインのセッションで発表していただきます。別途、講演論文集を発行することとし、当日対面・オンラインでの発表の有無に関わらず、支部大会での発表がなされたものとして取り扱います。
- ・対面・オンライン聴講ができるのは、講演発表または聴講参加のお申込みをいただいた方です。
- ・企画セッションを開催予定です。特別講演はNTT宇宙環境エネルギー研究所 所長 前田 裕二 氏を予定しております。

## 講演申込、参加費支払

一般講演 6月30日（金）23:00 までに連合大会Webでの申込ならびに参加費支払を完了すること。期限を越えた申込・支払や、支払後の参加費の返金は一切受け付けない。連合大会Webに入力した内容がそのまま大会プログラムに掲載されるので、入力ミスの無いようにすること。

## 論文投稿

6月30日（金）23:00までに連合大会WebからPDFファイルを投稿すること。期限を越えた投稿は一切受け付けない。論文投稿が受け付けられた場合には、Web受付番号を付した確認の電子メールを連合大会事務局から自動的に送信する。連合大会Webからの投稿がどうしても不可能な場合は、連合大会事務局に事前に連絡すること。

## 一般講演について

- （ア）講演者は原則として主催または、共催学会会員に限るが、非会員の講演も認める（講演参加費が異なるので、注意すること）。また、講演は一人一件に限る。ただし、複数の応募論文に共著者として参加することは差し支えない。
- （イ）最近の研究・工事計画・現場試験・新製品の紹介等で未発表のもの。ただし、内容の類似したものが数件にわたることは認めない。実行委員会で不相当と認めた論文は、講演を断わることがある。また、講演論文は、原則として和文とするが、英文も認める。講演時間は1件あたり発表10分、質問時間2～3分とする。

## 一般参加（講演者）

会 員 4,000円 非会員 8,000円

- ・DL版プログラム、DL版予稿集付き。
- ・会員（「申請中」を含む）は、1件につき4,000円を、カード決済あるいはコンビニ決済にて振り込むこと。「申請中」の者は、会費を学会に振り込んだ証拠となる書類（例えば、振込証明書のコピー等）を連合大会事務局宛にメールで送ること。非会員は、1件につき8,000円を同様に振り込むこと。いずれの場合においても、カード決済、コンビニ決済各々に伴う費用は自己負担とする。

## 一般参加（講演者以外）

	事前登録（～8/13）	事前登録期間後の申込（+1000円）
会 員	4,000円	5,000円
非会員	8,000円	9,000円
学 生	1,000円	2,000円

- ・DL版プログラム、DL版予稿集付き。
- ・事前登録希望者は、連合大会Webから8月13日（日）までに参加登録を行い、上記参加費をカード決済あるいはコンビニ決済にて振り込むこと。カード決済、コンビニ決済各々に伴う費用は自己負担とする。

## 発表賞

発表当日35才以下の会員（申請中のものを含む）で特に優秀な論文発表者に贈呈する。  
過去に受賞経験のある者は選考の対象とならない。  
審査希望者はWeb投稿の際、該当欄にチェックすること。

## 連合大会事務局

〒460-0011  
名古屋市中区大須1丁目35番18号 一光大須ビル7階  
公益財団法人 中部科学技術センター内  
E-mail: registration@tokai-rengo.jp

## 主催

電気学会東海支部、電子情報通信学会東海支部、情報処理学会東海支部、照明学会東海支部、  
映像情報メディア学会東海支部、日本音響学会東海支部、IEEE名古屋支部

## 共催

電気設備学会中部支部、豊橋技術科学大学

## 令和5年（2023年）度 定例記者会見日程

第1回	5月17日（水）	10：30～	事務局3階大会議室
中止	<del>6月22日（木）</del>	<del>10：30～</del>	<del>事務局3階大会議室</del>
第2回	8月10日（木）	10：30～	事務局3階大会議室
第3回	9月14日（木）	10：30～	事務局3階大会議室
第4回	10月26日（木）	10：30～	事務局3階大会議室
第5回	12月14日（木）	10：30～	事務局3階大会議室
第6回	1月18日（木）	10：30～	事務局3階大会議室
第7回	2月22日（木）	10：30～	事務局3階大会議室

コロナウィルス感染症拡大の状況によっては、オンラインにて開催することもあります。

定例以外に臨時で記者会見を行う場合があります。

以 上